

令和 8 年度 第 1 回 大津市社会教育委員会議 議事録（概要）

□ 日 時

令和 8 年 5 月 28 日（木）10 時 00 分～12 時 10 分

□ 場 所

大津市役所 本館 4 階 第 3 委員会室

□ 出席者

社会教育委員 8 名

教育委員会事務局 10 名（教育部長 ほか 9 名）

□ 傍聴者

なし

□ 内 容

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 令和 8 年度大津市社会教育推進事業補助金交付に係る意見聴取

(2) 大津市子ども読書活動推進計画（第四次）の進捗報告と意見聴取

(3) 大津市生涯学習推進計画の進捗報告と市民アンケート調査について

4 その他

5 閉会

□ 主な質疑・意見等

(1) 令和 8 年度大津市社会教育推進事業補助金交付に係る意見聴取

※資料に基づき事務局より説明

【委員】

補助金を交付すること自体は問題ないと思うが、2 点お聞きしたい。

社会教育推進一般事業と青少年指導者育成事業はどう違うのか。申請者の事業計画を見ると、どちらもジュニアリーダー研修会である。事務局と申請者では申請の仕組みについての認識に齟齬があるのではないか。

また、社会教育推進一般事業の活動部門は昨年度、今年度と申請が無い。応募しにくいのではないか。

【事務局】

社会教育推進一般事業は家庭教育推進事業、青少年指導者育成事業を除く、社会教育に関する事業に対する補助金の交付申請が可能。ご指摘の「ジュニアリーダー研修会」の申請について、青少年指導者育成事業は「地域で活躍できる人材育成」という指導者育成を目的とされているが、社会教育推進一般事業では「社会教育指導者の裾野を広げ、地域の

教育力を高める」という、広く社会教育の推進全般を目的とした事業として申請を受けている。

活動部門については、社会教育関係団体以外の団体が申請できる部門である。社会教育関係団体には、事務局から直接または学校・園を通じて周知を行っており、広域部門で申請を受けているところであるが、社会教育関係団体以外への周知は広報やホームページで行うに留まっている。周知方法を工夫し、活用いただけるようにしたい。

【委員】

青少年育成学区民会議と子ども会育成連合会については合併し、現在、子ども会育成連合会はないのではないか。

【事務局】

現在でも学区によって単位子ども会はある。

【委員】

補助対象経費に食糧費とあるが、会議等でのお茶代以外認められていない場合もある。もっと補助金活用の自由度を高くしてほしい。また、ポイントをつけてはならないとされていることがあるが、ポイントカードや会員であることにより、安価になることも多い。

【会長】

市民感情的な問題もあり、行政としても食糧費については慎重にならざるを得ない部分がある。

（２）令和８年度大津市子ども読書活動推進計画（第四次）の進捗報告と意見聴取
※資料に基づき事務局より説明

【会長】

計画策定にあたりアンケートを取るということだが、生涯学習推進計画のアンケートと合わせて取るのか。また、どの程度の人数に対して取るのか。

【事務局】

生涯学習推進計画のアンケートとは別に取る。

具体的には、市内を８ブロックに分けて、各ブロックから小学校、中学校をそれぞれ１校ずつ選び、当該校の小学４年生と中学２年生と各々の保護者を対象にアンケートを行う。回答があった者の中から、各２５０名をサンプルとして抽出する予定である。

【会長】

なぜ全校で実施しないのか。Web調査であれば負担も変わらないのではないかと。こういったアンケート調査は全員に行うことが大切だと思う。

電子書籍や電子図書を知らずに高校生になる子は多い。アンケートを通じて意向を調査するだけでなく、周知の手段になり得るということも踏まえてほしい。全ての子どもたちに答えるチャンスがあることが必要だと思う。

【委員】

250名のサンプルということだが、なぜ250名なのかというところには疑問がある。250名だけ抽出するのではなく、せっかく得た回答は全て分析すべきだと思う。

また、アンケートには普及啓発の意義もあるという話があったが、設問もそれに合わせて工夫されるとよい。

【事務局】

今から全校調査に変更することは難しいが、今回調査を実施する児童生徒については、全て分析対象にできるよう再度検討する。

【委員】

学校によって読書の情報の入り方が違う。図書館のPRやボランティア募集のショート動画などをクラスで流して、見せる機会をつくってはどうか。

【委員】

読書ボランティアが減少しているとのことだが、なぜ減少しているのか。また、どう対策しているのか。

【事務局】

多忙化や働く人が増えたということが原因として挙げられる。また、活動するならきっちりやらなければと構えてしまう人も多いと、読書ボランティアの方から聞いている。気軽に協力いただけるように、研修プログラムなどを検討していきたい。

【委員】

AIなども発展しているが、相談相手がAIや本ばかりになっても良くない。人にも相談して欲しい。

【会長】

ブックサポーターはどのようなことをされているのか。司書資格は必要なのか。

【事務局】

司書配置のない学校で読み聞かせや学校図書の整理をいただいている。司書資格は不要である。

【委員】

1校あたり、年間3万円の予算がついている。サポーターは学校で探しているが、卒業生に協力してもらった事例もある。

【委員】

図書館のボランティアという話もあるが、メリットデメリット両方ある。メリットを知ってもらえば、ボランティアが増える可能性もあり、周知を工夫したいところである。デメリットとして、経費面からボランティアを増やすことで、司書の仕事を奪わないかという懸念がある。

【会長】

本筋は、ボランティアを増やすことではなく、司書を全校に配置するということだと思う。司書が配置されたら、ボランティアが協力できる体制を整えることが必要である。

(3) 大津市生涯学習推進計画の進捗報告と市民アンケート調査について

※令和7年度進捗報告について資料に基づき事務局より説明

【委員】

資料9-2の6ページの子育てアプリの登録者の指標がC評価になっている。少子化が進んでいるため、登録者数を出生数の推移に合わせて目標値を丁寧に設定するか登録割合を指標にしないと、実際の利用度の感覚と異なる部分がある。他の項目も指標が適切かの視点で見ていく必要がある。

また、資料10ページの「男女共同参画をすすめる市民フォーラム」について、そのイベントに私も参加したが、会場は満席であった。ただ数字だけを見るのか、質も含めて考えるのかという視点や基準が必要である。これに関しては、指標設定時に想定されていたキャパシティより少ない定員の会場になったのか詳細は不明だが、そうした事情で達成度が変わる指標は望ましくないと思われる。

【事務局】

目標自体は、計画策定の段階で立てている。数値達成の評価だけではなく、事業評価とそれに伴う記述欄で質についても記載しているので、その両軸で評価されたい。

【会長】

数値だけの評価では無理がある部分が見られるため、適切な指標とはいえない。設定が悪かったというよりは、設定された指標が想定していた数値に至らなかったというところだと思う。必ずしも人が増えたからよいというものではない。

※事務局より次期計画策定及びアンケート調査について、資料に基づき説明

【委員】

満足度を測る質問があるが、「やや」というのはなくしてはどうか。答える側もそのほうがわかりやすいのではないか。

【会長】

「判断できない」の場所も含めて、選択肢の置き方には工夫が必要。

【委員】

このような五件法は珍しいと思うので、選択肢の置き方を工夫いただきたい。

また、「やや」については、回答に迷うときもあるので、あった方が答えやすいと思う。

問9について、単身世帯が増えているため、「家族生活」という表現より「生活の自立」などの表現がよいと思う。また、洋裁、和裁、編み物という具体例だが、時代にそぐわない。○をつける人はいないのではないか。問9に限らず、育児に関する質問については、「子育て」だけでなく「孫育て」という表現も加えてはどうか。

問15についても時代に適した項目にしたい。「ファックス」は古いのでは。「テレビ」と「ケーブルテレビ」の違いを意識している人は少ないと思う。「チラシ」という表現も受

け取り手によってイメージが異なるのでは。AI に関する項目も現代では必要かと思う。
「電話」についてはどういったことを念頭に置かれているのか。人によって認識が異なる
ことがあると思う。

問 31 の図書館に関する項目について、猛暑の対策として、暑い中公共施設で涼むという
観点もあるので、そういったことも踏まえ、利用を促すような設問の工夫もあるとよい。

【会長】

生成 AI の発展は著しいので、選択肢として入れるべきではないかと思う。
ファックスについては、現代日本ではまだ使われているので残しておいてはどうか。

【委員】

家庭教育についての質問があるが、「家庭教育」という言葉は、子育てというところとこ
ろと乖離というか、イメージ的に距離があるように感じる。

【会長】

そこも含めて、家庭教育の認知度を問うところかと思う。

【事務局】

家庭教育に関する質問については、非認知能力も含め、家庭内で身に付けさせたい力に
ついて問えるか検討したい。

【委員】

年齢欄について、70 代以上とするのではなく、80 代も分けてほしい。大きな違いがあ
ると思う。

【委員】

性別欄は LGBTQ への配慮かと思うが、自由記述欄にすると処理が大変だと思う。「答え
たくない」などをいれるとよいのではないか。

【会長】

そもそも性別を聞く必要があるのかということも含めて検討すべき。